



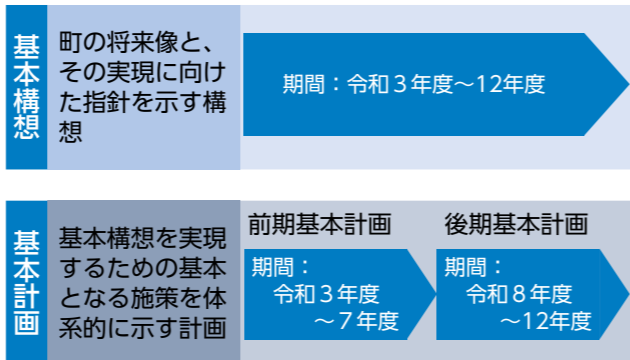
## 第6期菊陽町総合計画を策定しています

総合政策課 企画政策係 ☎(232) 2112

町では、平成23年に「人・緑 未来輝く生活都市 きくよう」を将来像とする「第5期菊陽町総合計画」を策定し、まちづくりを進めてきましたが、本年度で計画期間が終了するため、新たな総合計画、第6期菊陽町総合計画を策定しています。

総合計画は、計画期間が10年の基本構想と、前期5年、後期5年の基本計画からなり、町の各種計画の中で最上位の計画となるものです。

新型コロナウイルス感染症の影響で住民懇談会などの開催が難しくなっていますが、状況を見ながら、広報などを通じて町民の皆さんにお知らせしながら、策定作業を進めます。



### 第1回総合計画策定審議会

総合計画策定審議会の第1回目の会議を8月4日に役場で開催し、後藤町長から明石会長(熊本県立大学名誉教授)へ諮問が行われました。

総合計画策定審議会は、第6期菊陽町総合計画の策定について検討・審議するための組織で、公募委員、学識委員、各種団体の代表者など、計18人の委員で構成されます。諮問に引き続き行われた審議では、町から町民アンケート調査結果や今後検討を進める項目などについて説明があり、多くの委員から活発な意見が出されました。



後藤町長から明石会長へ諮問



議事の審議が活発に進められた

## 町民アンケート調査結果

令和元年度に実施した、町民アンケート調査について、結果の概要をお知らせします。

※端数処理の関係で合計が100%にならないことがあります。

#### 調査の概要

対象	町内在住の18歳以上の人
抽出方法	無作為抽出
抽出数	4,500人
調査方法	郵送による配布・回収
調査時期	令和2年1月～2月
回答数	1,576人
回答率	35.0%

#### 回答者の属性

①性別

性別	割合
男性	42.1%
女性	53.6%
無回答など	4.4%

#### ②年齢

年齢	割合
20歳未満	1.6%
20歳代	6.7%
30歳代	13.0%
40歳代	19.1%
50歳代	12.9%
60歳代	17.3%
70歳代	18.3%
80歳以上	9.3%
無回答	1.7%

#### ③居住年数

居住年数	割合
3年未満	10.3%
3年以上～5年未満	4.7%
5年以上～10年未満	10.5%
10年以上～15年未満	12.1%
15年以上～20年未満	8.9%
20年以上	52.5%
無回答	1.0%

#### 居住意向

住みたい		移りたい	
• ぜひ、いつまでも住みたい	44.8%	• ぜひ、早く移りたい	1.0%
• なるべく住みたい	40.2%	• できれば移りたい	5.3%
計	85.0%	計	6.3%

#### • 住みたい理由

「永年住み慣れているから」が49.6%と最も多くなっています。次いで「日常の買物など生活に便利だから(48.0%)」、「通勤や買物など交通の便が良いから(39.5%)」となっています。

#### • 移りたい理由

「通勤や買物など交通が不便だから」が30.3%と最も多くなっています。次いで「親戚・友人・知人が少ないから(24.2%)」となっています。

#### 行政への満足度

満足している		不満である	
• 満足している	11.1%	• 不満である	4.4%
• どちらかといえば満足している	55.3%	• どちらかといえば不満である	13.1%
計	66.4%	計	17.5%

• 満足しているとする割合は、前回の77.5%から減少していますが、不満であるとする割合も前回の18.7%から減少しており、新設した「わからない」という選択肢(14.0%)の影響が考えられます。

#### 今後優先して取り組むべき重要な施策・事業(上位10項目)

1	交通安全・防犯対策	6	高齢者福祉の推進
2	防災体制の充実	7	ごみ・リサイクル対策
3	子育て支援の充実	8	義務教育施設(小中学校)の整備
4	バスなどの公共交通の充実	9	主要県・町道の改良および整備
5	介護施策の充実	10	自然環境の保全

#### 災害への対応

• 「最寄りの避難場所や避難場所への経路(75.6%)」、「備えの必要性(72.9%)」については7割以上が「認識している」としており、調査全体を通じて、災害に対する意識が高まっていることがうかがわれます。  
• 一方で「自主防災組織のことを知っているか(27.4%)」、「災害が起きた時のための備えをしているか(47.5%)」の問いに対しては、いずれも前回は上回っているものの、半数を下回っています。

#### まちの将来像

• 『生活環境が良く、整備された住宅街のある「暮らしのまち」』と『災害に強く、治安が良い「安全・安心のまち」』の2つが特に多くなっています。

